つつじが丘便り



文責 野上泰宏 N o . 1 1

無限型ネコ、まっしぐら量産中。

帯広市立つつじが丘小学校長 野上 泰宏

東京の下町や神社の境内を歩いていると、猫に遭遇することがあります。ゆっくり歩いていたり、 日当たりのいい場所で寝転んでいたりするのを見ると、思わず口元が緩んでしまいます。重たすぎ る会議、迷路のような駅構内を行き交う大勢の人々、見上げるとスカイツリーや高層ビルがそびえ る狭い空。そんな出張時、ささやかな癒しを得ています。

12月21日付の北海道新聞に、「砂を詰めて猫のシルエットを作る 『ネコカップ』」という記事が掲載されていました。砂の代わりに雪を 詰めても作成できそうです。寒い中、頑張って登下校する子ども達の 癒しになるかもしれないと思い、入手しました。

最初に作った日。気がつくと、蹴っ飛ばされて壊されていました。翌日は、終業式。今度は、踏んづけられて壊されていました。三学期の始業式、子ども達は自由研究の作品を持ってきていました。「この作品、いたずらされたり、壊されたりしたら、どう?」と尋ねると、低学年を中心に「いやだぁ」の大合唱。そこで、「校長先生、作っているものを壊されているんだよね。」と、雪で作っているネコの話をしました。

それから、ピタっと壊されることがなくなりました。登校日、児童 玄関に毎日ネコが量産されています。2年生の担任から、「子ども達、今日はどこにネコが現れるか楽しみにしています。」と聞きました。下校時に、「ネコちゃんの家族が増えているみたい。」と言った子どもがいました。小学生の豊かな想像力を感じました。

私が子ども達に伝えたいのは、「壊すのが悪い」だけではなく、「壊さなかったら、どうなるか」ということです。ストレスがたまった時に発散の手段として、大声を出す、人にあたる、物を壊してスッキリすることがあります。物を壊すことに、楽しさを感じることもあるのです。「楽しいけど悪い事だ。」と理解させることも大切だけれども、「壊さないことによる楽しさもある」ことに気付かせたい。そのことが、文化や伝統を大切にする心を育むことにつながると思います。「目が落ちていた」と、拾って先生に届ける子供も出てきました。







少子高齢化・人口減少もあり、「まちづくり」「まちおこし」が提唱され、コミュニティ・スクールもその波にのっているところがあります。しかし私は、コミュニティ・スクールは「まちおこし」より「まちわたし」にその効果があると考えます。私たちは、長い歴史の中で一時のまちの住人に過ぎない。だから、できることは本来そんなに多くない。先人から受け継いだまちのDNAを後人(子供達)にちゃんと渡す。そのシステムとして、コミュニティ・スクールは有効なのです。スクラップ&ビルド、地域経済の活性も大切ですが、まちの歴史と文化、あたたかさも大切です。つつじが丘小学校は開校して20年、まだまだ新しいまちであり、文化や伝統が熟成しているとは言えないかもしれません。だからこそ、将来の地域への思いのタネをこの小学校にたくさん撒きたいと思っています。どんなに町の風景が変わっても、地域の人達が優しく、あたたかく交流する。それは、あたかも東京の下町の感覚です。校長室の「つつじカフェ」では毎月、そんな皆さんの思いや願いが語られています。

つつじ小トピックス

(1月~2月)











【暖冬・少雪】

スケートリンクも何とかできました。氷 のお面も、何とか完成しました。こんな に、気をもみ苦労したのは初めてです。グ レダさんが怒るのもわかります。





1月24日、交通指導員さんにご協力いただき、低学年を対象に「冬の交通安全教室~冬道の歩き方」を行いました。雪による見通しの悪さや滑る路面など、冬に予想される事故について考え、安全に登下校することを学びました。寒さのために、どうしても身を固まらせ、視線も足元や下の方ばかりに行きがちですが、交差点ではきちんと顔をあげて安全を確認する等、事故に遭わないように自らも注意する方法を学びました。







1月24日から28日まで、とかちプラザに て帯広市小中学校書道展が開催されました。本 校からも、各学年から代表となる作品が展示さ れました。 1月29日、つつじが丘幼稚園の先生が来校し、3年生と5年生の授業を参観し研修をしていきました。幼稚園と小学校の連携は、学びを接続させる観点からも重要と言われています。









2月 12 日に新入生一日体験を行いました。ところが、1 年生がインフルエンザのために学年閉鎖。急きょ内容を変更し、全学級の授業参観としました。1 年生は一緒に活動することはできませんでしたが、ビデオによる合唱と入学までのカレンダーを新入生にプレゼントし、「待っているよ〜」とメッセージを送りました。





今年度も帯広市の環境課から「環境にやさしい活動実践校」の指定を受けました。児童会役員が取組を説明し、今後も節電や節水に気をつけることを約束しました。



感謝のつさい

お忙しい中、ご来校いただ き、ありがとうございました。

刀经厚盆宣













455

5年至

(多经营经量









可己物和



授業の手助けや放課後居場所づくり、交通安全指導に携わっている方など学校を支援してくださるボランティアさんをお招きし、少しでも感謝の気持ちを伝え、また子供達一人一人のことを知る機会になればと、昨年より給食にお招きする形に変えて「ボランティアさんへの感謝の集い」を実施しています。子供達が地域のいろんな大人に支えられて成長していることを実感する場になってくれることを願っています。

『学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました』

児童、保護者、教職員のアンケートについて、結果と考察を別紙にまとめました。今号の学校便りにはさむ形で配布させていただきます。お忙しい中、ご協力いただきました事に、心より感謝申し上げます。結果につきまして、次年度の学校経営の参考にするとともに、3月開催のコミュニティ・スクール運営協議会の席でも議題として取り上げ、運営協議員の皆様からご意見・ご示唆を頂戴する予定です。子供達の成長を学校・家庭・地域の連携で支える機運を高めるとともに、子供自身も考える機会にしたいと思います。

【例年のお願いでは、ありますが】

冬場を迎え、お子様の送迎の車が増えています。朝の登校時は、子供が降りるだけなので短時間なのですが、下校のお迎え時は「帰りの会」の進み具合により、待ち時間が生じてしまいます。そのため、学校と福祉センターの間を南北に走るの道路が「通りにくい。雪のため道幅が狭く、凍結もして危ない。」と、苦情が学校にきています。

駐車場は狭くご不便をおかけしていますが、グラウンド西側のスケートリンク手前、もしくは校舎西側給食車の出入り口付近に停車をしていただければと思います。二学期終わりに、その旨の通知をしたところ、ご協力をいただきました。三学期も同様の対応をお願いしたく、再度お知らせをした次第です。どうぞよろしくお願いいたします。

体育科・スケート学習の評価について業業業業

暖冬の影響で、例年にないリンクオープンの遅れと早めのクローズのため、どの学年も計画していたスケート授業を万度に行うことができませんでした。指導時間数が確保できないため、その評価もできませんでした。そこで、通知票(あゆみ)のスケート項目については評価不能のため、評価欄に斜線を入れます。これは空欄のままだと、記入漏れとの間違いを防ぐためです。学級通信でもお知らせをしていますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

いじめ防止の取組について・きょうぎ



帯広市では、全道で行われる春・秋のいじめアンケート調査に加え、三学期にも独自にアンケートを実施しています。これらのアンケートから、いやな思いをしたという児童について、担任が聞き取りを通して事実確認するとともに、当該児童のフォローと関係児童の指導にあたっています。また必要に応じて、保護者への連絡と対応についての相談をしています。

学校という集団生活の中で、様々なトラブルが生じますが、子ども達の様子に気を配り、保護者や地域と 連携しながら、いじめの未然防止と早期発見・対応に努めていきます。

今後の対応の具体として、

- •「いじめは絶対に許されない」ことの指導
- 思いやりや優しさを育む、道徳教育をはじめとする心の教育の充実
- ・感情コントロールの苦手な子どもに対する目配りと未然防止
- ・学校と家庭・地域が連携・協力した「いじめ撲滅」の機運の醸成に取り組んでまいります。

子ども達を中心に、「いじめのない学校」を目指していきますので、小さなことでもご心配なことがありましたら、学校までお知らせください。

3月のつつじが丘小 行事予定



